

●ガバナー 源新 和彦 ●会長 松田 義武 ●幹事 石橋 一男 ●コミュニケーション委員長 久保田 幸造

ホームページ：http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/ Email：hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp

Facebook ページ：https://www.facebook.com/hachinoheminamirc/

Facebook ページに「いいね！👍」をお願いします。

RI 第 2830 地区ホームページ：http://www.rotary-aomori.org/2020/

## 第 2162 回 例会 記録

《R 財団委員会担当例会》

2020 年 11 月 19 日 (木)

点鐘 12：30

レポート No. 1594



熊谷 S A

## 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実か どうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるか どうか



## 《会長要件》松田会長



今またコロナウイルスが相当はやっ  
 てきております、このままでは治まり  
 ません。人間というのは私もそうです  
 けれども家の中でじっとしているとい  
 うのが一番つらいことです、外国では  
 ミサもダメになっていてキリスト迄取  
 るのかと言っている国もあるそうです。今は若い人  
 だけではなく年齢のいった人が GoTo でもってこの時  
 とばかり遊びまわっています。そういうのが見えま  
 した。また、若い人が学校又は職場で感染しています、  
 良く夜の夜のと言いますけれども、今、夜は 10 ナン  
 パーセントとなっています。家に持ってきてお年寄  
 りにうつすというような状況、元気なお年寄りはお  
 金がありますからみんなで旅行している状況で、誰  
 がいつうつるか分からないと思っています。是非気  
 をつけて頂いて、うつってしまったらしょうがない、  
 誰のせいでもありませんから、美味しいものを食べ  
 てよく寝る、健康で運動をしながら生活していただ  
 きたいと思います。

## 《幹事報告》石橋幹事

- ・地区事務所より衛星クラブ会員の地区  
分担金と、地区表彰規定改正のお知らせ  
が来ております。今までありました出席  
優秀ロータリアンの表彰が無くなりました。  
出席優秀クラブはそのままあります。
- ・八戸市社会福祉事業団より小菊荘に対  
する寄付のお礼状が届きました。11 月 16 日のデー  
リー東北には記事が掲載されていました。
- ・12 月 17 日のクリスマス家族例会の出欠をとって  
います。最終締め切りは 12 月 10 日を予定しております。
- ・ハイライト米山が届いています。



## 《ニコニコボックス》慶徳委員

松田会長：伊藤さん、今日の担当例会  
 よろしくお願ひいたします。

石橋幹事：伊藤委員長、今日は R 財団  
 担当例会よろしく。



## 《出席報告》松橋委員長



正会員数 35 名。本日の出席は免除  
 会員 8 名を含む 22 名。出席率は  
 64.7%です。

米内会員：あたたかい日でほっとします。

伊藤会員：ロータリー財団担当例会です。よろしく  
お願いします。

## 《ロータリー財団委員会》伊藤委員長



本日はロータリー財団担当例会です。  
 担当例会に先立ち松田会長、橋本精二会  
 員、赤穂会員、米内会員、西村会員、慶  
 徳会員と私をふくめ 7 人から財団寄付を  
 頂戴しました。ありがとうございました。  
 今年度は既に黒田会員、石橋会員、長嶺  
 会員、熊谷会員、清川会員からもいただき  
 合わせて 12 名の方から財団に対する寄付を頂戴して  
 います。ご協力ありがとうございます。

本日は日頃より皆様からご協力いただ  
 いているロータリー財団の活動について簡単  
 にお話させていただきます。用意して  
 きた原稿は新会員の方むけに作って  
 きたのですが残念ながらターゲットに  
 していた新会員の方はお休みです  
 ので皆さんにとっては何度も聞  
 いたことがある財団のお話になる  
 かと思いますが、こんなもの  
 だったかなと思ひながら聞いて  
 いただければと思います。

ロータリー財団の正式名称は国際  
 ロータリー財団と言ひます。どの  
 ような活動をしているかという  
 と「世界でよいこと」をしてい  
 ます。よいことをするためには  
 資金が必要になりますので皆  
 様へご寄付をお願いしている  
 次第です。

ロータリー財団は非営利財団法  
 人ですのでロータリー財団の  
 定款・細則にはロータリー財  
 団管理委員会が慈善的、教育  
 的、目的のためにのみ運営す  
 ると定められており、皆様  
 からのご寄付もその目的の  
 ため大切に使用していただ  
 いております。

皆様から頂戴した浄財はロータリー日本財団を通

して国際ロータリーのロータリー財団へ届けられます。この公益財団法人日本ロータリー財団は国際ロータリーのロータリー財団の協力財団であり、世界 7 カ国に 8 つある協力財団の 1 つです。(ドイツには 2 つの協力団体があります。)

協力財団は

- 1、ロータリー財団およびそのプログラムを支援する寄付を増加させる
- 2、寄付者に税に関する優遇措置を提供する
- 3、財団プログラムへの奉仕と支援を強化する  
(2020 年 1 月ロータリー財団章典)

という 3 つの目標と目的のもと活動しています。日本の「日本ロータリー財団」は、2010 年 12 月に内閣府から公益認定をうけ、公益財団法人となりました。内閣府より認可を受けている公益目的事業は 2 つあり、1 つ目は奨学金事業、2 つ目は目的を同じくする国際ロータリーのロータリー財団への支援です。令和元年度には、17 億 8 千 6 百 50 万円を国際ロータリーのロータリー財団へ寄付しました。この中には私たちの財団への寄付が含まれておりますが、公益財団法人日本ロータリー財団へ寄付することによって個人、法人ともに税制上の優遇措置を受けているということです。

9 月にオンラインで行われた臨時理事会で理事長に千玄室さんが再任され、当クラブの黒田会員も 3 人いる副理事長の 1 人として再任されております。担当しているのは奨学金事業で、先日もグローバル補助金奨学生の最終選考を依頼され、日本国内だけでなく世界中から集まる希望者の英文の願書を読まなければならない、今回は 16 人分の願書だったので 2 週間かかりさすがに大変だったとおっしゃっていました。他の 2 人の副理事長は総務担当と会計事務担当なので奨学生選考担当委員長という立場での副理事長として、皆様からの財団寄付を有用に使用させていただくようボランティア活動をしているつもりだともおっしゃっておられました。皆様の活動に頭の下がる思いです。御年 97 歳の千理事長まではいかないまでも黒田会員も 82 歳になられます、まだまだお元気ですが私たちのためにも体調には留意していただきたいと思います。

2830 地区では皆様に年間一人当たり年次基金 150 ドルとポリオプラス 30 ドルの寄付をお願いしています。ポリオプラスというのは使用目的をポリオ撲滅のために限定した寄付でそれ以外には使用できません。ポリオプラス以外にも使用目的を限定した寄付はありますがここでは省略させていただきます。皆様から頂いた年次基金はロータリー財団に送られて運用され利益を生みその運用益はロータリー財団の管理運営費に使われます。地区での寄付金総額の半分は 3 年後に地区に還元されます。わかりやすく 2830 地区の 3 年前の寄付金総額を 1 千万円とすれば半分の 500 万円が 2830 地区に戻り、残りの 500 万円は国際財団の活動資金として使われます。地区に戻った 500 万円のうち半分の 250 万円は地区補助金、250 万円はグローバル補助金として使うことができます。

2019-20 年度の 2830 地区ロータリー財団報告書によりますと、沼田年度ではグローバル補助金を活用してタイの 3330 地区に浄水器を 5 器設置いたしました。残念ながら新型コロナウイルスの影響で現地視察は行うことが出来ませんでした。識字率向上プロ

グラムは、やはりコロナの関係で医療支援に変更しグローバル補助金の一部寄付という形で行いました。そのほかに青森県にフェイスシールド 10,000 組他の医療用品を寄贈したほかに、フィリピン・ブラジル・ペルー・マレーシアにもフェイスシールドを送りました。

また奨学金関係では平和フェローシップは要件のかなりハードルが高いので候補者を見出すことが出来ませんでした。グローバル補助金奨学生は 2 人目の承認を得ることが出来ました。1 人目のグローバル補助金奨学生で米国ニューヨーク州へ留学中の吉田菜さんは無事に大学院を修了し、難民の英語教育の分野で働き始めたとの報告があり、ロータリーは「基礎学力向上と識字率の向上」の分野での人材育成に成果を収めることが出来たと書いてありました。

私たちのクラブでも活用している地区補助金は地区内 34 クラブが地区補助金を活用して事業を行いその報告も掲載されています。この報告書は事務局に置いておきますのでご覧になって下さい。

地区補助金を使った事業には地区補助金奨学生という制度もあります。これは高等学校 3 年生卒業予定者を対象として、国内の大学へ入った際に奨学金を支給するという制度で今年度も募集しています。

財団室 NEWS の 10 月号によりますと 9 月 22 日現在の寄付上位 3 カ国は、アメリカ、韓国、日本の順になっていて変動はありません。大口寄付者の欄に長嶺会員の名前が載っていますがここに掲載されるのは一括で 10,000 ドル以上の寄付をされた方です。吉田賢治年度では黒田会員、長嶺会員の大口寄付をはじめ多くの会員の皆様から多額の寄付を頂戴しました。お陰様で寄付額地区ナンバー 1 のバナーを頂戴しました。これは昨年度の財団委員長である西尾さんが頑張った成果でもあります、ありがとうございました。

今年度の八戸南ロータリークラブロータリー財団委員会目標の一つに「寄付ゼロ会員ゼロ」を掲げました。先程の 2830 地区ロータリー財団報告書の中で源新ガバナーがこのようなことを書いておられます。「寄附は『第二の奉仕活動』であると思います。一度にまとまった額でなくても構いません、例会の度 500 円、千円でも結構です。または、毎日帰宅したときポケットやバッグの中に貯まっていた小銭を、缶や貯金箱に投入し、いっぱいになったら寄附して頂いてもいいのです。皆さんのほんの少しの思いやりが集まって、世界や地域のために有益な奉仕活動の支援となるのです。」動画をご覧ください。(ロータリー財団・ポリオ動画)

ご存知のように世界でポリオ野生株の常在国はパキスタンとアフガニスタンの 2 カ国のみとなりました。ポリオ根絶迄あと少しです。しかし、新型コロナウイルスの蔓延によりワクチン投与活動にも支障をきたしています。ロータリーの悲願でもありますポリオ根絶のためにも皆様の御協力をお願いします。

60 セントあれば 1 人の子どもをポリオから守ることが出来ます。

50 ドルあれば水を介する疾病から人々を守るために安全な水を提供することが出来ます。

今月のロータリーレートは 1 ドル 104 円です、皆様の御協力をお願いして担当例会を終わります。